

生徒会の挑戦がスタート！～新たな大中を目指して～

5月23日（月）に生徒総会が開催され、今年度の生徒会活動方針や本部・各委員会の年間活動計画が審議されました。放送による開催で、全校生徒は自教室でタブレットにある議案書を見ながら審議に参加する「Withコロナ」時代のやり方も回数を重ね、定着してきました。

生徒会の存在意義は、自分たちに合った学校づくりを自分たちの手で進めていくところにあります。つまり、自分たちの権利である「自由」と「自治」を存分に行使しながら、自分たちの目指す学校を創ることができるということです。

ただし、ここで目指す学校とは、自分一人の求める学校ではありません。全校生徒427人、つまり「自分たち」にとって目指す学校でなければなりません。しかし、一人一人の思いや願いを完全に一致させることは困難です。そして、目指す学校の姿がただ一つの正解として収束するものでもありません。

そうであっても、最も望ましい答えやより多くの生徒が納得できる答えとしての「自分たちの目指す学校」の姿を求めていくことに挑み続ける皆さんであってほしいと願っています。その努力に意味があるのですから。

自分たちはどのような学校を目指し、創っていくのか。そんな「最適解」と「納得解」を求め続け、学校づくりに挑戦し続けようとする生徒会会員全員の思いがこもった今年度の生徒会スローガン「挑戦～新たな大中～」。素晴らしいスローガンですね！

「挑戦」の中身と取組に、大いに期待する！

今年度の生徒会が掲げた「挑戦」とは、学校の発展である「新たな大中」づくりに向けたチャレンジです。それも、ただ1回や2回ではなく、「多くの挑戦」として目標に掲げています。この意気込みは、とても素晴らしい！

新たなものを生み出す挑戦には、困難が伴います。発展を望まず、何も変えなければ、何の苦労もない楽な活動となるところですが、そんな安易な選択をしないのが大中生です。この活動方針を全校で承認し、427人全員が「挑戦」のスタートラインに立ちました。承認した重さや責任を受け止めるとともに、その受け止めが「自分たち一人一人が挑戦の主体者なのだ」という決意と覚悟につながってくれることを期待しています。

活動の大きな柱は次の2つです。どちらも簡単に実現できるものではありませんが、確かな思いに基づく「挑戦」の構えでやり遂げましょう！

- 生徒の手で「生徒心得」を見直し、現在の大中に合ったものにする
- 生徒の意見を今まで以上に聞き、新たな大中づくりに生かしていく

カエル見たさにやってくる！

校長室にいるカエルを目当てにやってくる生徒が増えています。それも、なぜか1年生の女子生徒ばかりです。

一般的なイメージではあまり女子には受けそうにない両生類のカエルですが、最近はそうでもないようです。かわいいですよ。見に来たい人はいつでもどうぞ。校長室で待っています。



議長団の進行もバッチリ！審議がとてスムーズに進みました！



タブレットにある議案書に真剣に目を向け、審議に臨んでいます！

大形中学校 校長室だより
夢・希望・未来

令和4年5月24日

第5号

令和4年度 生徒会活動方針

挑戦

～新たな大中～

今まで先輩方が残されてきた伝統を受け継ぐのはもちろんですが、大形中学校をより良い学校にし、今までにない新しいことに挑戦をしていきます。

生徒が中心となって新たな大中を創ろうと動き、学校を発展させるために多くの挑戦をしていく学校にすることを目標に掲げます。

生徒会は、「生徒心得」を現在の大中にあったものにするこや生徒の意見を今まで以上に聞いて新たな大中を創っていく活動していきます。

全校生徒で大中を今までになかった
新たな大中を創っていきましょう